



# 10月1日は 国勢調査の日です

10月1日、全国いっせいに国勢調査が行われます。  
国勢調査は、国内に住んでいるすべての人を対象にした、国の最も基本的で、大規模な調査です。5年ごとに実施され、今回が13回目。

調査員が調査票を配りにお宅へ伺いますので、できるだけ調査員から直接受け取るようお願いします。

なお、調査内容は合計22項目、わずかな時間で記入できますので、忘れないようお願いします。

## 9月30日までに 調査票が届きます

最初に国勢調査が行われたのは、大正9年で、以来5年ごとに実施されてきました。

国勢調査は、国全体の人口、都道府県や市町村ごとの人口、年齢、職業別構成また、世帯数と家族構成などを明らかにします。

この結果は、皆さんの明るい暮らしと住みよい町づくりを進めていく上で、重要な基礎資料となります。

調査は、国内に住んでいるすべての人が対象。

したがって、9月24日から30日までの間に、調査員がみなさんのお宅を訪問して、調査票を配ります。

なお、下宿や間借りをしている人にも、もれなく調査票を配ります。

調査票の記入については、調査票

といっしょに「国勢調査についてのお願い」「記入例」を配りますのでよく読んでください。

記入していただいた調査票は、10月1日から5日ごろまでの間に、調査員が集めに伺いますので、そのときに渡してください。

## 調査票は汚さないで

今回の国勢調査では、結果を1日も早く役立てるため、調査票を直接機械にかけて集計します。

調査票の取扱い、記入については次の点に注意してください。

- ・汚したり、折ったり、丸めたりしない。
- ・必ず濃い黒鉛筆で記入する。
- ・記入方法は、ほとんどがマス目に横線を入れる「マークシート方式」です。記入するときは、横線を枠いっぱい太く、濃く、はっ

きり書いてください。また、記入を間違えたときは、消しゴムできれいに消して書きなおしてください。

## 統計以外には使われません

国勢調査では、調査員をはじめ調査関係者が、調査票に書かれた内容を他にももらしたり、統計資料にする以外の目的—例えば税金の資料などに使うことは、法律で固く禁止されています。安心して正確な記入をお願いします。

豊かな町づくりへの第1歩、それが国勢調査です。市民のみなさんの積極的なご協力をお願いします。  
※調査票の記入方法などについては9月15日発行のお知らせ広報「暮らしのたより」で詳しくお知らせします。

国勢調査についての問合せは、市広報広聴課へ 内線 246 527

### ひとメモ



国勢調査は「紙で勝負する」といわれます。

## 富士山の1.8倍 調査票4,500万枚

今回、全国で使われる調査票は、4,500万枚。

これを積み重ねると富士山の約1.8倍、じつに6,885倍の高さになります。

また、調査票の大きさは、たて36.4センチ・よこ25.7センチ。

これをタテ一直線に並べると約16,380枚。

東京—サンフランシスコ間8,445倍の約2倍になります。